



決算および経営計画説明会

代表取締役社長 加藤 敬太

2020年4月27日

Copyright© SEKISUI CHEMICAL CO., LTD. All Rights Reserved.



COVID-19影響を踏まえた20年度計画の考え方

■自助努力により影響を最小限に留め、下期からのV字回復獲得へ体制を維持・強化する

20年度計画の前提

- 現在(4月中旬)の状況が6月まで継続し、その後徐々に 回復するが、上期は大きく影響を受ける前提
- COVID-19影響により、自動車生産、スマホ生産、生活 関連病検査数、住宅展示場への来店者数、住宅着エ戸 数の減少、工事の延期等が見込まれる
- 実際の収束時期によっては、業績が変動する可能性がある

19年度業績への影響

見通し(1月)対比で売上高▲207億円、営業利益▲92億円 の影響が発生

	営業利益影響額	主な内容
高機能P	▲44億円	モビリティ分野のサプライチェーン停止等
住宅	▲27億円	部材納入遅れによる引渡し遅延等
環境LL	▲15億円	国内工事遅延、北米航空機生産減
メディカル	▲13億円	各製品の出荷遅れ、生活関連病検査数の減少

*「車輛・輸送分野」→「モビリティ分野」へ名称変更

20年度計画の組み立て

■ 原計画対比で売上高▲792億円、営業利益▲280億円 の影響を見込む

	営業利益影響額	主な内容
高機能P	▲162億円	モビリティ分野のサプライチェーン停止等
住宅	▲85億円	集客減・イベント中止等による受注減→売上減
環境LL	▲20億円	着工減、北米航空機生産減による需要減等
メディカル	▲17億円	生活関連病検査数減等

	2020年 原計画*		対前年 増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
高機能P	3,510	438	+286	+66
住 宅	5,380	405	+251	+27
環境LL	2,365	160	▲9	+5
メディカル	767	110	+41	+18
その他	45	▲101	▲ 5	▲4
消去又は全社	▲201	▲31	+9	▲8
合計	11,866	980	+573	+102

*COVID-19影響を加味しなかった場合の計画

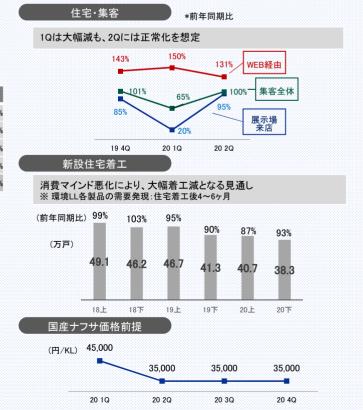
SEKISUI

Copyright© SEKISUI CHEMICAL CO., LTD. All Rights Reserved.

市況見通し

■1Qはグローバル経済活動が大幅制約受けるが、2Q以降徐々に回復、下期は正常化する前提

グローバル自動車生産台数 *前年同期比 20年度上期はCOVID-19影響(生産・消費)で低迷。年度後半に向け 回復見込む 【世界自動車生産台数】 【地域別(前年同期比)】 93 欧州 100% 122% 他 67 ■日帯 米州 87% 27% 37% 100% 112% ■中国 山国 64% 55% 75% 90% 108% ■北米 日・アジア 57% 103% 97% 89% 79% ■欧州 47% 69% 110% 見通し(1月) スマホ出荷台数 *前年同期比 20年度上期はCOVID-19影響(主に生産)で低迷も、5G切替需要増に より徐々に回復する見通し 130% 見通し(1月) 115% 105% 95% 94% 100% 92% 85% 70% 19 4Q 20 1Q 20.20 20 3Q 20 4Q



2019年度実績

* ++ , ,	2018年度			年度
為替レート	上期	下期	上期	下期
前提	¥109/US\$	¥112/US\$	¥109/US\$	¥108/US\$
	¥132/€	¥128/€	¥124/€	¥120/€
実績	¥110/US\$	¥112/US\$	¥109/US\$	¥109/US\$
*期中平均	¥130/€	¥127/€	¥121/€	¥120/€

Copyright® SEKISUI CHEMICAL CO., LTD. All Rights Reserved.

4

2019年度 損益概要

- ■2月度以降のCOVID-19影響大きく減収。各段階の利益とも減益。計画未達
- ■配当は、計画通り、2円増配となる一株当たり46円を実施(10期連続増配)

(億円)	2018年度 実績	2019年度 実績	増減
売上高	11,427	11,293	▲135
営業利益	957	878	▲ 79
経常利益	931	870	▲62
親会社株主に帰属する 純利益	661	589	▲ 72
配当 (円/株)	44	46	+2

差異	2019年度 見通し(1月)
▲207	11,500
▲92	970
▲100	970
▲81	670
0	46

- ■高機能PがCOVID-19、市況影響大きく大幅減益。環境LLは増益確保、住宅、メディカルは前年並み
 - 高機能P:自動車市況の低迷長期化に加え、COVID-19影響(稼働低下・停止)で大幅減益
 - 住宅: COVID-19影響(部材納入遅延による期末引渡し遅延)で前年並みに留まる
 - 環境LL:高付加価値品(国内重点拡大製品)伸長により増益確保
 - その他:研究開発テーマの選択・集中を実施

	2018 実	年度 績	2019 実		増	減
(億円)	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
高機能P	3,413	449	3,224	372	▲189	▲ 77
住 宅	5,067	390	5,129	378	+62	▲12
環境LL	2,392	150	2,374	155	▲18	+5
メディカル	707	96	726	92	+19	▲ 4
その他	61	▲ 111	50	▲97	▲ 11	+14
消去又は 全社	▲213	▲17	▲210	▲22	+3	▲ 5
合計	11,427	957	11,293	878	▲135	▲ 79

J	2019 見通し	年度 (1月)	差	異
売_	上高	営業利益	売上高	営業利益
3	,280	416	▲ 56	▲ 44
5	,220	405	▲91	▲27
2	,420	170	▲ 46	▲ 15
	725	105	+1	▲13
	55	▲99	▲ 5	+2
•	200	▲27	▲10	+5
11	,500	970	▲207	▲92

^{*}高機能P=高機能プラスチックスカンパニー *住宅=住宅カンパニー *環境LL=環境・ライフラインカンパニー

*2019年度より、高機能Pからメディカル事業を分離

SEKISUI

Copyright[®] SEKISUI CHEMICAL CO., LTD. All Rights Reserved.

2019年度 カンパニー別売上高・営業利益 上期・下期別

■上期は全社として前年並み営業利益確保も、下期は高機能P、住宅のCOVID-19影響大きく 減益

		2018年度 上期実績 2019年度				減
(億円)	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
高機能P	1,713	231	1,604	197	▲108	▲33
住 宅	2,469	172	2,569	186	+101	+14
環境LL	1,110	43	1,132	54	+22	+11
メディカル	342	44	343	44	0	0
その他	27	▲ 57	24	▲ 53	▲ 3	+3
消去又は全 社	▲ 111	▲12	▲107	▲ 14	+4	A 2
合計	5,549	422	5,565	415	+16	▲ 7

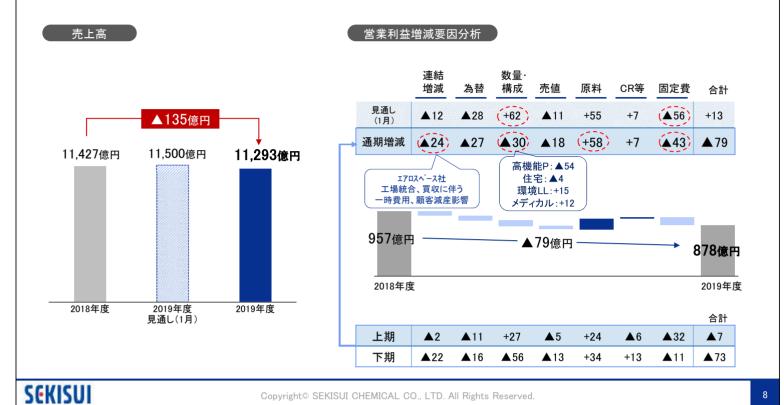
	年度 実績		年度 増減		減
売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
1,700	218	1,620	174	▲81	▲ 44
2,599	218	2,560	192	▲39	▲26
1,282	107	1,241	100	▲ 41	▲ 6
365	52	383	48	+18	4
34	▲ 54	26	▲ 44	▲ 8	+10
▲102	▲ 5	▲103	▲ 8	▲ 1	▲3
5,878	535	5,727	463	▲ 151	▲ 73

*高機能P=高機能プラスチックスカンパニー *住宅=住宅カンパニー *環境LL=環境・ライフラインカンパニー

*2019年度より、高機能Pからメディカル事業を分離

2019年度 業績分析

- ■高機能Pの「数量・構成」減。原料安も、為替、新規連結、COVID-19のマイナス影響大きく減益
- ■全社で固定費を抑制



Intentionally Blank

SEKISUI

2020年度計画

v ++	2019	年度	2020年度		
為替レート	上期	下期	上期	下期	
前提	¥109/US\$ ¥124/€	¥108/US\$ ¥120/€	¥110/US\$ ¥120/€	¥110/US\$ ¥120/€	
実績 *期中平均	¥109/US\$ ¥121/€	¥109/US\$ ¥120/€	-	-	

Copyright® SEKISUI CHEMICAL CO., LTD. All Rights Reserved.

2020年度計画 損益概要

- ■COVID-19影響により減収、各段階の利益とも減益を計画
- ■一株当たり配当は、1円増配の47円を計画(11期連続増配)
- ■自己株式取得購入枠(上限800万株/160億円)を設定
- ■自己株式消却(800万株)を実施

(億円)	2019年度 実績	2020年度 計画	増減
売上高	11,293	11,074	▲219
営業利益	878	700	▲178
経常利益	870	690	▲180
親会社株主に帰属する 当期純利益	589	435	▲154
配当 (円/株)	46	47	+1

12

2020年度計画 カンパニー別売上高・営業利益

■COVID-19影響により、高機能P、住宅中心に減益。環境LL、メディカルは比較的影響軽微と 見込む

		2019年度 実績		2020年度 計画		減
(億円)	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
高機能P	3,224	372	3,150	276	▲ 74	▲95
住 宅	5,129	378	5,055	320	▲ 74	▲ 58
環境LL	2,374	155	2,284	140	▲ 90	▲15
メディカル	726	92	741	93	+15	+1
その他	50	▲ 97	45	▲100	\$ 5	▲ 3
消去又は全社	▲210	▲22	▲201	▲29	+10	▲ 7
合計	11,293	878	11,074	700	▲218	▲178

	COVID-19影響額 (対原計画*)					
売上高	営業利益					
▲360	▲162					
▲325	▲85					
▲81	▲20					
▲26	▲ 17					
0	+2					
0	+1					
▲792	▲280					

*COVID-19影響を加味しなかった場合の計画

SEKISUI

 $\label{lem:copyright} \mbox{Copyright@ SEKISUI CHEMICAL CO., LTD. All Rights Reserved.}$

2020年度上期計画 カンパニー別売上高・営業利益

- ■1Qを中心にグローバル経済活動が大幅制約受け、上期は大幅減益見込むが、下期の回復に備え サプライチェーンの維持に努める
 - 高機能P:主にモビリティ分野がサプライチェーン停止影響受け、大幅減益
 - 住宅:2月度以降の集客減、営業活動制約に伴う受注減により、大幅減益
 - 環境LL: 着工減に伴う需要減、航空機減産影響受ける見通し

	2019年度 上期実績		2020年度 上期計画		増減		COVID-1 (対原)	19影響額 計画*)
(億円)	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
高機能P	1,604	197	1,370	37	▲235	▲ 160	▲355	▲ 159
住 宅	2,569	186	2,410	128	▲ 159	▲ 58	▲210	▲ 58
環境Ц	1,132	54	1,029	25	▲103	▲29	▲ 57	▲ 16
メディカル	343	44	329	24	▲ 14	▲20	▲26	▲ 17
その他	24	▲ 53	18	▲ 52	▲ 6	+1	0	+2
消去又は全社	▲107	▲ 14	▲100	▲ 15	+7	▲1	0	+1
合計	5,565	415	5,056	147	▲ 510	▲ 268	▲648	▲247

*COVID-19影響を加味しなかった場合の計画

■COVID-19影響解消を想定し、下期は大幅増益を見込む

- 高機能P:モビリティ分野の供給正常化により、V字回復を見込む
- 住宅:上期の受注減影響残るも、下期は前年並みの利益水準を回復
- 環境LL:着工減など厳しい市場環境は継続も、高付加価値品拡販により増益を確保

	2019年度 下期実績		2020年度 下期計画		増減		COVID-1 (対原)	
(億円)	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
高機能P	1,620	174	1,780	239	+160	+65	▲ 5	▲ 3
住 宅	2,560	192	2,645	192	+85	0	▲ 115	▲27
環境LL	1,241	100	1,255	115	+14	+15	▲24	▲ 4
メディカル	383	48	412	69	+29	+21	0	0
その他	26	▲ 44	27	▲ 48	+1	4	0	0
消去又は全社	▲103	▲8	▲101	▲ 14	+2	▲ 6	0	0
合計	5,727	463	6,018	553	+291	+90	▲ 144	▲34

*COVID-19影響を加味しなかった場合の計画

SEKISUI

Copyright© SEKISUI CHEMICAL CO., LTD. All Rights Reserved.

14

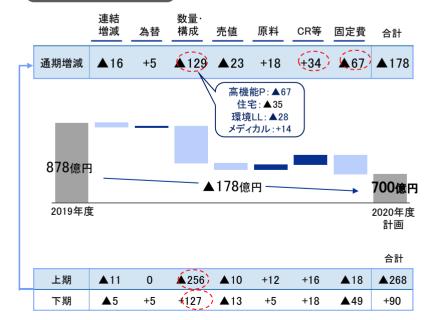
2020年度計画 業績分析

- ■上期はCOVID-19影響大きく、「数量・構成」大幅減。下期は高機能P中心にV字回復見込む
- ■構造改革による原価低減(CR)、固定費圧縮を推進

売上高



営業利益増減要因分析





	前中期計画	2020年度~
配当性向	30%目途	35%以上
DOE	3%程度	3%以上
総還元 性向	_	D/Eレシオ0.5 以下であれば、 50%以上
自己株式消却	-	発行済株式総数の5%以内となるよう、新規取得見合い分を消却

年度	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020(計画)
一株当たり 当期純利益	22.1円	44.9円	54.0円	58.5円	80.1円	104.7円	115.1円	126.1円	133.8円	141.7円	128.3円	95.2円
一株当たり配当	10円	13円	15円	18円	23円	27円	30円	35円	40円	44円	46円	47円
配当性向	45.2%	28.9%	27.8%	30.8%	28.7%	25.8%	26.1%	27.7%	29.9%	31.0%	35.9%	49.4%
自己株式取得(億円)	0	22	45	0	100	150	168	164	160	146	133	上限160億円/ 800万株
総還元性向*	45.2%	38.2%	43.7%	30.8%	52.9%	54.0%	55.5%	54.5%	55.1%	53.0%	58.4%	85.6%
DOE*	1.6%	2.0%	2.3%	2.4%	2.7%	2.8%	2.8%	3.1%	3.3%	3.4%	3.5%	3.5%
自己株式消却(万株)	-	-	-	700	-	1,200	1,000	-	1,000	800	800	800

^{*}総還元性向=(自己株式取得額+配当総額)÷当期純利益 *DOE(自己資本配当率)=年間配当額/期中平均自己資本

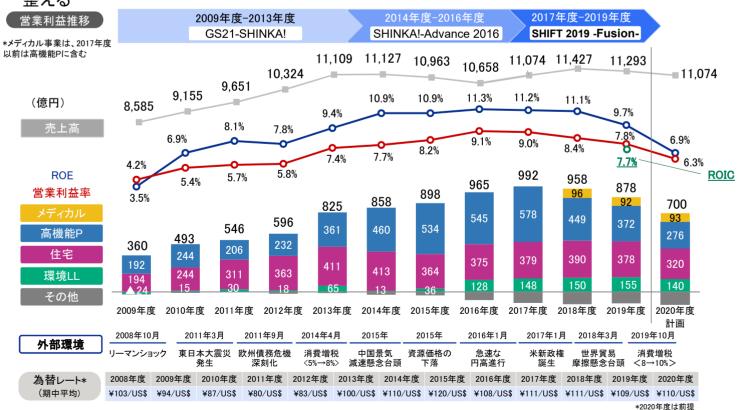
SEKISUI

Copyright© SEKISUI CHEMICAL CO., LTD. All Rights Reserved.

16

2020年度の位置付け

■新中期計画初年度となる2020年度は、COVID-19収束後のPent-up Demandを獲得する体制を整える



SEKISUI

執行役員 経営管理部長 西田 達矢

Copyright© SEKISUI CHEMICAL CO., LTD. All Rights Reserved.

連結対象会社数と増減影響

連結対象会社数

	2019年3月末	2020年3月末	増減
連結会社	153社	163社	増加 15社*1 減少 5社*2
持分法会社	8社	8社	増加 0社 減少 0社

- *1セキスイタウンマネジメント(株)、積水成型出雲(株)、積水映甫高新材料(無錫)有限公司、Sekisui Aerospace Corporation 等
- *2 PT Cayman Limited、積水エンジニアリング(株)、Sekisui Chemical Singapore(Pte.)Ltd.、九州セキスイエ販(株) 等(再編含む)

連結会社増減による影響額

	2019年度(前年比)	増減
売上高	+23億円	Sekisui Aerospace Corporation* ³ 等
営業利益	▲24億円	Sekisul Aerospace Corporation 等

*3 2019年度第4四半期より新規連結

損益概要

(億円)		2018年度	2019年度	増減
売上高		11,427	11,293	▲ 135
売上総利益		3,681	3,627	▲ 54
売上総利益率		32.2%	32.1%	▲0.1%
販売費および一般	设管理 費	2,724	2,749	+26
営業利益		957	878	▲ 79
持分法投資損益		25	29	+4
その他営業外損益	Ė	▲ 50	▲37	+13
経常利益		931	870	▲62
特別利益		34	69	+35
特別損失		26	103	+77
税引前利益		939	836	▲103
法人税等		254	226	▲28
非支配株主に帰属する当期純利益		24	20	▲4
親会社株主に帰属	する当期純利益	661	589	▲ 72
為替レート	米ドル	111円	109円	
(期中平均)	ユーロ	128円	121円	

SEKISUI

Copyright® SEKISUI CHEMICAL CO., LTD. All Rights Reserved.

貸借対照表 -資産-

					棚卸資産(B/S科目)	2020年 3月末	増減
					建売住宅(製品)	170	+53
	2019年	2020年			造成済土地(分譲土地)	506	+123
(億円)	3月末	3月末	増減		造成中土地(仕掛品)	151	▲19
					工事中住宅(仕掛品)	271	+36
現金及び預金	699	768	+69		部材等(原材料)	38	+4
士 L 佳 朱	1 070	1 741	A 100		住宅計	1,136	+198
売上債権	1,870	1,741	▲128		非住宅計(製品等)	1,036	+52
棚卸資産	1,922	2,172	+250	ŀ	棚卸資産計	2,172	+250
	.,	_,		J	設備投資 +702		
その他流動資産	210	237	+28	l [減価償却 ▲356		
有形固定資産	3,095	3,373	+278		連結影響 +82		
無形固定資産	508	1,011	+503		Aerospace社 +553		
				ł	売却 ▲124		
投資有価証券	1,633	1,409	▲ 225	●	· 時価評価 ▲70		
投資その他の資産	301	313	+12	1	減損 ▲29		
投資での他の資産	301	313	+12		連結増減		
資産合計	10,237	11,024	+786		+713 億円		
	,	,		J L,	為替影響		
					▶ ▲158億円		
					実質: +231 億円		

20

貸借対照表 -負債·純資産-

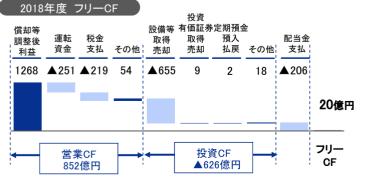
(億円)	2019年3月末	2020年3月末	増減	
無利子負債	3,371	3,504	+133	普通社債 +300
有利子負債	538	1,177	+638	
(ネット有利子負債)	(▲160)	(408)	(+569)	当期純利益
負債合計	3,910	4,681	+771	589億円
資本金等	2,092	2,093	+1	配当金支払
利益剰余金	4,080	4,330	+250	▲213 億円
自己株式	▲ 443	▲ 441	+2	自己株式消却 ▲ 127 _{億円}
有価証券評価差額金	368	275	▲ 94	▲ 12 / 18円
非支配株主持分	255	249	▲ 6	取得
その他純資産	▲24	▲ 162	▲138	▲133 億円
純資産合計	6,327	6,343	+15	消却 +127 _{億円}
負債·純資産合計	10,237	11,024	+786	127 (61)
				為替換算調整勘定
ROE	11.1%	9.7%	▲ 1.4%	▲ 103
自己資本比率	59.3%	55.3%	4 .0%	
D/Eレシオ(ネット)	_	0.07	_	

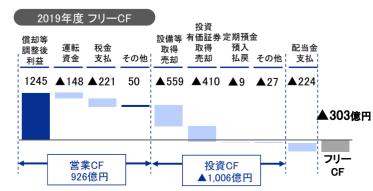
SEKISUI

 $\label{local_constraints} \mbox{Copyright} @ \mbox{SEKISUI CHEMICAL CO., LTD. All Rights Reserved.}$

連結キャッシュ・フロー

(億円)	2018年度	2019年度
営業活動によるキャッシュ・フロー	852	926
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲626	▲1,006
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲315	155
現金及び現金同等物の増減額	▲85	45
現金及び現金同等物の期末残高	686	747
フリーキャッシュ・フロー =営業活動CF+投資活動CF-配当支払	20	▲303





22

減価償却費·資本的支出·EBITDA

	減	価償却費	<u>-</u> *1	のれん等償却費*2			資本的支出			EBITDA*3		
(億円)	2018 年度	2019 年度	増減	2018 年度	2019 年度	増減	2018 年度	2019 年度	増減	2018 年度	2019 年度	増減
住 宅	94	94	+1	1	1	0	178	150	▲28	485	474	▲ 11
環境LL	69	78	+9	3	1	▲2	139	136	▲3	222	234	+11
高機能P	154	166	+12	17	26	+9	329	267	▲ 62	619	563	▲ 56
メディカル	28	34	+6	21	21	0	44	46	+2	145	147	+2
その他	20	20	0	0	0	0	37	49	+12	▲ 91	▲ 77	+14
消去又は 全社	10	13	+3	-	_	-	10	20	+10	▲ 7	▲9	^ 2
合計	374	406	+31	42	49	+7	736	668	▲68	1,373	1,332	▲ 41

- *1 減価償却費はM&Aによる工業所有権の償却費は含まず
- *2 のれん等償却費 =のれん償却費+M&Aによる工業所有権の償却費
- *3 EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん等償却費

SEKISUI

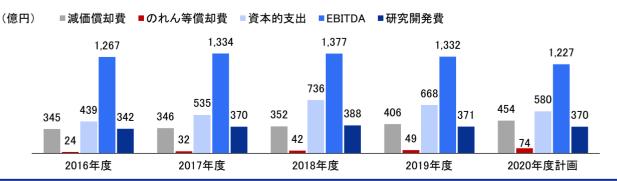
Copyright© SEKISUI CHEMICAL CO., LTD. All Rights Reserved.

24

減価償却費•資本的支出•研究開発費

(億円)	2019年度	2020年度 計画	増減
減価償却費	406	454	+48
のれん等償却費	49	74	+25
資本的支出	668	580	▲88
EBITDA	1,332	1,227	▲105
研究開発費	371	370	▲1

減価償却費・資本的支出・研究開発費推移



2020年度計画 損益概要と株主還元

(億円)	2019年度 実績	2020年度 計画	増減	
売上高	11,293	11,074	▲219	
営業利益	878	700	▲178	
経常利益	870	690	▲180	
親会社株主に帰属する	589	435	▲ 154	
当期純利益	309	400	▲154	
当期純利益 	46	433	+1	
配当(円/株)	46	47	+1	
配当(円/株) 配当性向	46 35.9%	47 49.4%	+1 +13.5%	
配当(円/株) 配当性向 自己株式取得(万株)	46 35.9% 800	47 49.4% 800	+1 +13.5% 0	

*総還元性向=(自己株式取得額+配当総額)÷当期純利益

*DOE(自己資本配当率)=年間配当額/期中平均自己資本

SEKISUI

Copyright© SEKISUI CHEMICAL CO., LTD. All Rights Reserved.

26

Intentionally Blank

高機能プラスチックス カンパニー

カンパニープレジデント 清水 郁輔

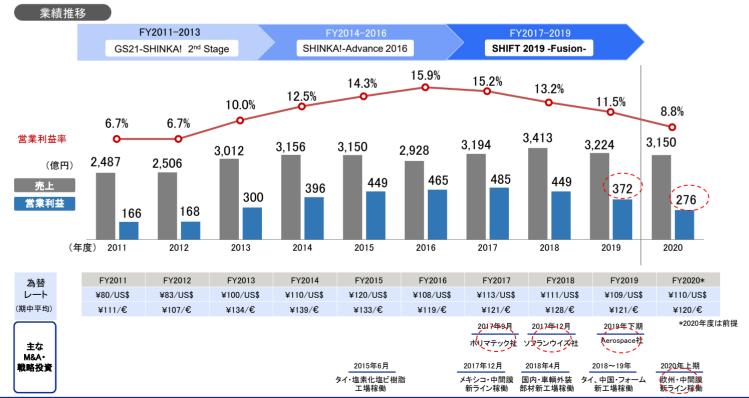
Copyright© SEKISUI CHEMICAL CO., LTD. All Rights Reserved.

業績推移

高機能 プラスチックス

28

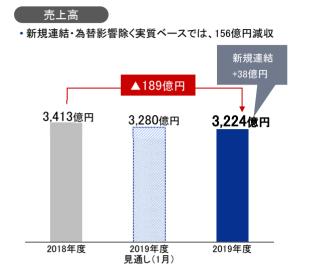
- ■グローバル市況悪化、COVID-19影響により、19年度は大幅減益。成長のための投資は進捗
- ■20年度は、上期は大幅減益も、下期は増益回帰を計画。自動車市況は下期回復を想定



2019年度 業績分析



- ■4QのCOVID-19影響大きく、モビリティ分野中心に「数量・構成」大幅計画未達。エレクトロニクス分野、 住インフラ分野は相対的に健闘
- ■成長投資以外の固定費は緊急施策により抑制

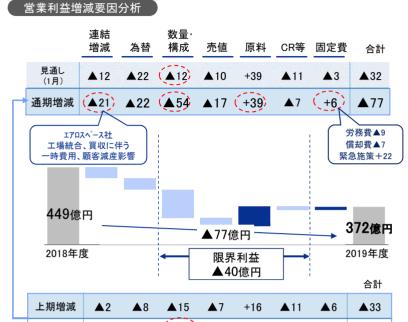


COVID-19影響(対見通し)

営業利益▲44億円

- 影響額のうち、モビリティ分野で▲31億円、産業他▲7億円、 エレクトロニクス/住インフラ材▲6億円
- ガラスメーカー,自動車メーカー稼働低下・停止による 自動車生産台数減(4Q想定:87%→実績:83%*)
- ・ 2月末~3月の国内消費の急激な落ち込み

*前年同期比



SEKISUI

Copyright© SEKISUI CHEMICAL CO., LTD. All Rights Reserved.

下期増減

▲19

▲14

(▲39)

10

+23

+4

+12

30

2020年度 計画概要

高機能 プラスチックス

▲44

- ■上期はモビリティ分野中心に「数量・構成」大幅減。下期はCOVID-19影響解消を前提として、エレクトロニクス分野、モビリティ分野中心に「数量・構成」大幅増へ復帰
- ■コスト革新施策を強化、事業構造改革を前倒し実施

売上高

・新規連結・為替影響除く実質ベースでは、210億円減収

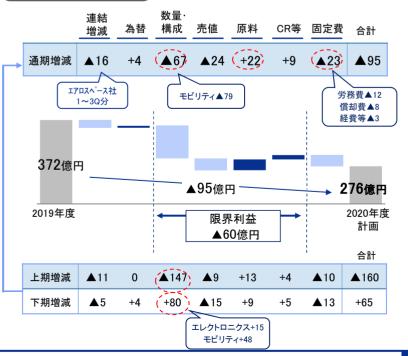


COVID-19影響(対原計画)

<u>営業利益▲162億円</u> (上期▲159億円、下期▲3億円)

- ・ 影響額のうち、モビリティ分野▲140億円, 産業他▲15億円
- 顧客のガラスメーカー、自動車メーカーの稼働低下・停止による 自動車生産台数減(1Q:47%、2Q:69%を想定*)*前年同期比

営業利益増減要因分析



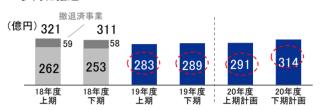
戦略3分野等

- ■エレクトロニクス分野は堅調、住インフラ材分野も好調継続
- ■モビリティ分野は上期COVID-19影響甚大も、下期回復を想定

戦略3分野の売上高推移等

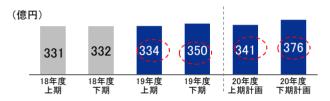
エレクトロニクス

- ・上期は(前年比)横ばいも、下期は5G切替需要等により、 回復見込む
- ・非液晶分野(半導体・5G向け等)売上拡大により収益源の 多角化推進



住インフラ材

- ・塩素化塩ビ樹脂:インドでのシェアUP、収益性改善継続
- 耐火材料、断熱/不燃材料は引き続き拡販注力



モビリティ

- 上期は欧・米・中を中心に厳しい市況を想定。下期はグローバルである 程度回復を見込む
- ・中間膜欧州新ラインは、20年度1Qから段階的に稼働
- HUD向けは伸長継続。高機能膜の採用部位拡大に努める
- Aerospace社の収益改善に注力



コスト革新

- 各施策を前倒しで実施し、収益構造の再構築を迅速に進める
- 固定費抑制 前減 (+20億円)
 - 営業効率化
- 諸経費圧縮
- サプライチェーン 改革(+30億円)
- 購買最適化
- 生産性改善
- 物流コスト削減
- 事業構造改革 (+10億円)
- 低採算事業の 抜本的見直し
- 拠点再編•最適化

*金額は20年度の前年比改善額見通し

SEKISUI

Copyright© SEKISUI CHEMICAL CO., LTD. All Rights Reserved.

成長エンジン

プラスチックス

32

■非液晶分野、断熱/不燃材料は順調に拡大。高機能中間膜は下期に成長軌道回復目指す

戦略3分野の重要実施項目

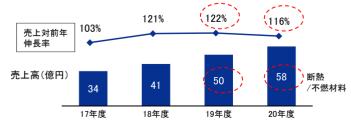
エレクトロニクス 【非液晶分野注力】

・非液晶向け(半導体・5G向け等)拡販に注力



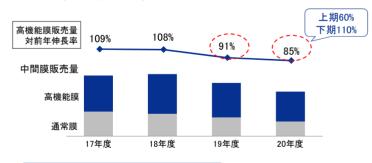
住インフラ材 【断熱/不燃材料拡販】

• 不燃ウレタン、断熱材料中心に成長を継続



モビリティ
【高機能中間膜拡販】

・HUD向け拡販、採用部位拡大により、再び成長けん引へ



次期成長領域

■3分野とも、次期成長領域の事業・製品育成に注力する

エレクトロニクス	モビリティ	住インフラ材
・次世代ディスプレイ ・5G、IoTインフラ ・ウェアラブル	・次世代自動車(LiB、 自動運転) ・航空機向けCFRP	・安全・省施工材料・圧電センサー

SEKISÜI

住宅カンパニー

カンパニープレジデント 神吉 利幸

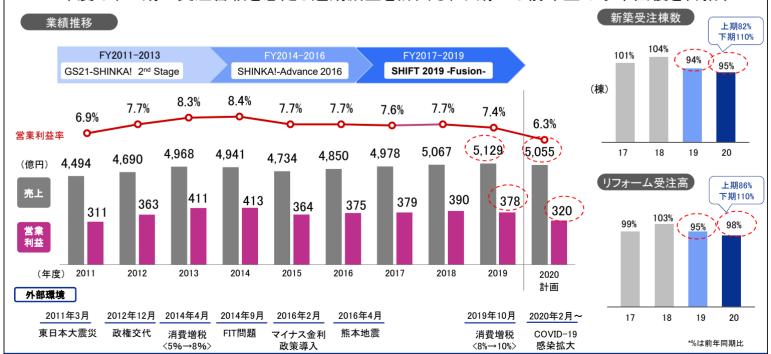
Copyright[®] SEKISUI CHEMICAL CO., LTD. All Rights Reserved.

業績推移

住宅

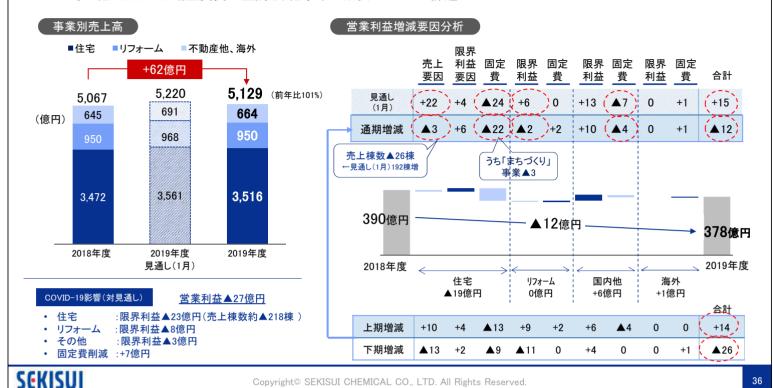
34

- ■19年度は、主にCOVID-19影響により、4期ぶり減益
 - ・ 消費増税影響は最小限に留めるも、4Q以降のCOVID-19影響により全事業において売上見通し未達 ⇒ 新築・リフォーム事業においては、部材納入遅れ等
- ■20年度は、上期の受注苦戦を想定し通期減益を計画も、下期には前年並み水準回復を目指す



■COVID-19影響により売上計画未達。コスト抑制も、営業利益は減益

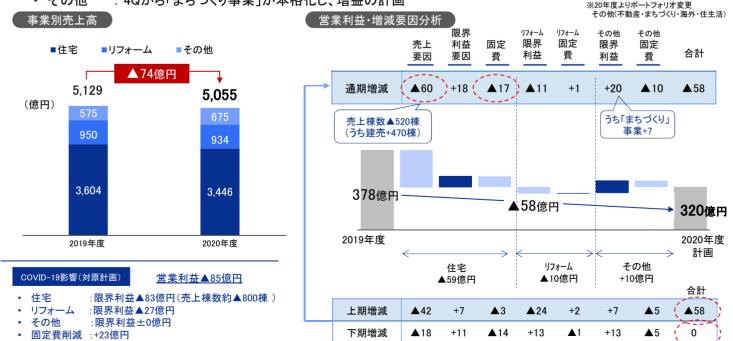
- 住宅:急激な受注機会の減少と部材調達難から工程前倒しできず、売上棟数が大幅に減少
- リフォーム:災害影響(10月大型台風等)に加え、期末の部材調達難、受注減速により、売上が減少
- その他:主力の不動産賃貸は堅調も、他事業は成長スピードに課題



2020年度 計画概要

住宅

- ■COVID-19影響により1Q中心に大幅受注減で上期減益不可避
- ■下期は平準化効果(生産最適化・建売等)で、前年並みの利益水準を目指す。
 - 住宅 :上期・売上棟数の大幅減少により限界利益減の計画。一方で、回復需要獲得の先行投資は継続
 - リフォーム: 重点商材の拡販と売上平準化により、下期には増益を計画
 - その他 : 4Qから「まちづくり事業」が本格化し、増益の計画



■COVID-19収束後の需要に向け、「営業戦力」「商品戦略」「土地戦略」強化を継続する

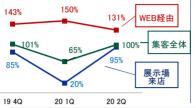
集客,受注推移 ①集客実績/見通し 20には正堂化を相定 WEB経由集客を強化し、モデルハウス 来店減をカバー 150% 143% 131% WEB経由 集客全体 65%

*%は前年同期比

受注実績•計画

■ 20年度は上期苦戦も、下期は18年度並みの水準を回復する

*%は前年同期比



②用途別受注実績/計画

- 公鐘, 建壳 计 堅調 に 推移
- 建替、集合住宅は減少幅大きい

			19下	20上	(うち1Q)
	建	替	76%	71%	56%
戸	デ 新築 建 自社土地絡み		98%	81%	65%
建			101%	102%	90%
		うち建売	123%	133%	107%
集合住宅		77%	60%	50%	
トータル			90%	82%	65%

诵期95% (棟) 110% 103% 105% 98% 101% 101% 82% 90% 17 年度 年度 年度 年度 上期 下期

2020年度受注獲得施策

*%は何れも前年同期比

堂業戦力

- ✓ WEBマーケティング強化(集客・分譲ブランディング)
- ✓ モデルハウス・営業人員増
- ✓ 体感型ショールーム(AR・VR)増設(19末:23→20末:32ヶ所)
- ✓ スマート、ファーストバイヤー向け中心に商品を継続強化

商品戦略

パルフェシリーズ レジリエンス強化(4月) 対象 スマートパワーステーションシリーズ スマート強化(10月) 顧客 スマートパワーステーションアーバン 建壳受注本格化

ストック(リフォーム、不動産)、まちづくり他

土地戦略

- ✓ 充分な土地在庫を確保(19年度末:109%)
- 建売在庫を拡充(19年度末:151%)

- 体感型ショールーム活用による契約効率向上
- ■「スマートハウスNo.1」戦略の強化
- 自社土地付き分譲・建売の拡販



SEKISUI

Copyright[®] SEKISUI CHEMICAL CO., LTD. All Rights Reserved.

住宅

38

■COVID-19影響受け、1Qは受注減速も、

2Q以降の回復需要を着実に獲得

ストック ①リフォーム

*%は前年同期比

営業体制

- 診断の効率化とミュージアムによる提案力強化
 - 定期診断専任化の推進
 - ファミエスミューシアムの全国展開(19末:7→20末:18ヶ所)

商材

- スマート系と提案型の商材に注力
 - 卒FIT邸に対する蓄電池提案強化
 - バス新製品の提案徹底

生産性改善 CS水準向上 ■ 受注残管理強化による施工・売上の平準化 推進



ストック ②不動産

- ■リフォーム協業効果の発現
 - ・ ハイム非管理物件の取り込み強化
 - 仲介・買取再販のリソース増大



まちづくり

■ HEIM SUITE(あさか分譲マンション) 20年3月・212戸販売開始。うち、 20年度売上100戸を計画

■ 2022年度までの4プロジェクトの 仕込み完了



海外•住生活

- 海外: 営業体制強化(人員、モデルハウス)による受注拡大
- 住生活: 組織構造改革とデジタル技術導入による収益性改善

環境・ライフライン カンパニー

カンパニープレジデント 平居 義幸

Copyright© SEKISUI CHEMICAL CO., LTD. All Rights Reserved.

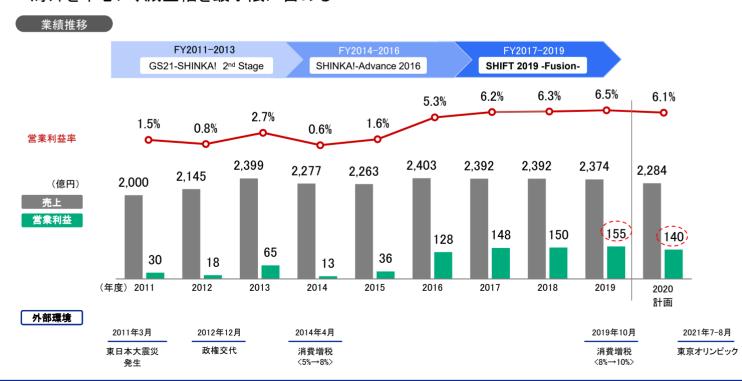
業績推移

環境・ ライフライン

40

- ■19年度は、営業利益計画未達も、カンパニー最高益を更新(4期連続)
- ■20年度は、COVID-19影響避けられず減益計画も、重点拡大製品*の拡販と 海外を中心に、減益幅を最小限に留める

* 重点拡大製品: 高付加価値、かつ市場成長・ 代替が見込める製品



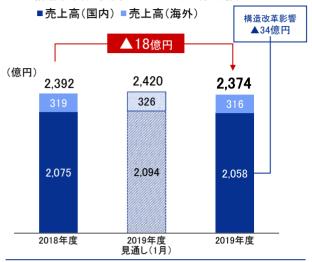
2019年度 業績分析

環境・ ライフライン

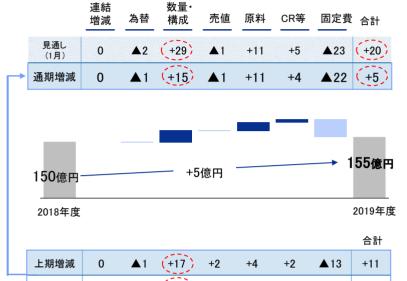
- ■国内汎用品苦戦、海外伸び悩みも、重点拡大製品の伸長により増益確保
 - 国内: 下期住宅着工減の影響で汎用品苦戦も、重点拡大製品が順調に拡大(重点拡大製品売上高 110%*)
 - 海外:FFU(枕木用途)は順調も、プラント管材、航空機向けシートが伸び悩み(海外売上高 99%*) *前年比

売上高

・構造改革除く実質ベースでは、16億円増収



営業利益増減要因分析



(**▲**2)

▲3

+7

+2

▲9

COVID-19影響(対見通し)

売上高▲46億円、営業利益▲15億円

• 工事停滞・遅延(国内)、航空機生産減(シート)

SEKISUI

Copyright© SEKISUI CHEMICAL CO., LTD. All Rights Reserved.

下期増減

0

42

2020年度 計画概要

環境・ ライフライン

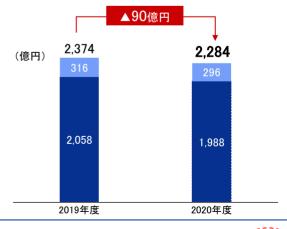
▲6

- ■上期はCOVID-19影響で減益不可避む、下期は重拡品拡販、海外拡大により増益回帰
 - 国内:重点拡大製品の拡販継続、新製品の継続的投入
 - 国内:生産再編、低採算事業の構造改革を加速。汎用品のスプレッド確保/固定費を抑制
 - 海外:シートの用途展開、FFU(枕木用途)の顧客開拓を加速

売上高

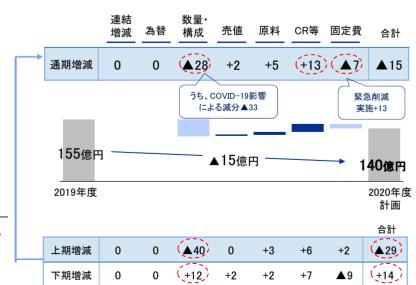
営業利益増減要因分析

■売上高(国内) ■売上高(海外)



COVID-19影響(対原計画) <u>売上高▲81億円、営業利益▲20億円</u>

- 国内:着工減、行政活動鈍化による公共受注減
- 海外:航空機生産減、設備投資減による需要減等
- 対策として、固定費抑制、スプレッド確保に注力



■上期は減収不可避も、2Qでの市場環境底打ちを折り込み、下期より実質増収を計画

戦略3分野の売上高推移等

配管・インフラ

- 上期は着工減、設備投資抑制影響を折り込み。 五輪延期での工事需要取り込み
- 引き続き、重点拡大製品を中心に下期伸長を計画



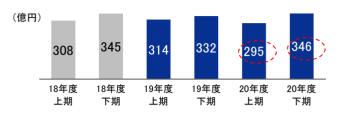
建築•住環境

- 構造改革で売上漸減傾向も利益率は改善
- 上期を中心に着工減影響を折り込み



機能材料

- ・シート事業の用途展開(医療向け等)、FFU(枕木用途)の海外 顧客開拓進める
- 上期は航空機向け需要減を折り込み。下期から回復見込む



構造改革

■20~22年度累計で50億円以上の固定費を削減



SEKISUI

Copyright[®] SEKISUI CHEMICAL CO., LTD. All Rights Reserved.

成長戦略(重点拡大製品、海外)

環境・ ライフライン

44

重点拡大製品の拡販

重点拡大製品売上高

• 20年度はCOVID-19影響受けるも、重点拡大製品は



海外事業の拡大

*国内製品輸出含む

海外地域別売上高

20年度はシート中心にCOVID-19影響受けるも、 需要回復期に向けた拡大施策は継続



製品例



高層建築対応の 耐震型高性能ポリ エチレン管。柔軟・ 軽量化で**易施工化** に貢献

②更生工法(SPR)

老朽化した下水管

の更生。道路を掘 り返さずに下水道 をリニューアル

③大型高排水システム



サイフォン式雨水排水 システム。配管口径 をUPすることなく 集中豪雨に対応す る排水量を確保



トンネル掘削等のシー ルドエ事用途。 機械・人力による土留 め壁の開口作業不要

海外地域別戦略

事業•製品	戦略	欧	米	亜
シート	航空・医療分野拡大(欧州)加工パートナー増強(米)	1	1	
機能材(FFU)	欧州生産拠点設立(新工場着工)欧米顧客拡大	1	1	
管路更生	事業基盤強化(アジア・豪州)パートナー企業増強(欧米)、新製品拡販	1	1	1
プラント・管材	・ ベトナムTP社との協業拡大 ・ アジア・欧州での商流開拓	1		1
建築管材	・ アジア市場参入(重点拡大製品)			1

メディカル事業

専務執行役員 経営戦略部長 上脇 太

Copyright® SEKISUI CHEMICAL CO., LTD. All Rights Reserved.

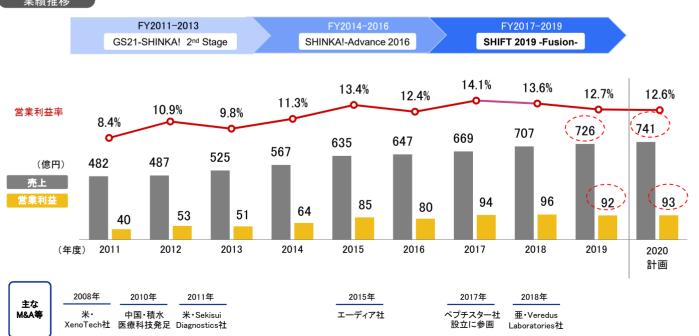
業績推移

メディカル

46

- ■19年度は、検査海外が順調に伸長し増収も、先行投資により、3期ぶり減益
- ■20年度は、COVID-19影響により営業利益前年並みも、来期以降の成長のための基盤を強化する





- ■海外検査事業が順調に拡大し増収。国内検査事業は微増益。医療事業は顧客都合による 一過性の受注減により減益
- ■COVID-19影響に伴う生活習慣病検査数減により、計画未達



営業利益増減要因分析 新規 検査 検査 為替 国内 海外 医療他 固定費 合計 連結等 見通し ▲5 +2 +9 +18 ▲9 ▲6 +7 (1月) 0 +3 / +19 / **▲**10 **→** 12 通期増減 **4 4** 96億円 ▲4億円 92億円 2018年度 2019年度 限界利益 +12億円 合計 上期増減 **A**2 +2 (▲9 **▲**3 0 +11 下期増減 **A** 2 n **▲**9 +1 +7 **A** 1 **A** 4

グローバルで各製品の出荷遅れ

生活習慣病検査薬、採血管の需要減

SEKISUI

Copyright© SEKISUI CHEMICAL CO., LTD. All Rights Reserved.

2020年度計画 業績分析

メディカル

48

- ■COVID-19影響により上期は減益不可避も、下期は増益回帰を見込む
- ■海外検査事業が成長をけん引。国内検査事業、医療事業は成長軌道へ復帰

726億円 726億円 2019年度 2020年度

COVID-19影響(対原計画) 営業利益▲17億円

- ・ 検査:生活習慣病検査(生化学、糖尿病等)の外来減少 ▲19億円
- 医療:欧米出社制限に伴う生産能力低下 ▲4億円
- COVID-19検査キット拡販、コスト抑制を実施



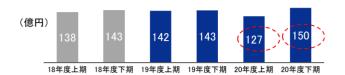
2020年度 計画概要・事業別の状況

■海外検査事業を中心に成長。次期以降の継続成長のため、開発を重点強化

事業別売上高推移と計画概要

検査国内

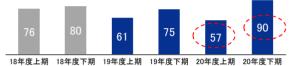
- 営業体制の強化
- 新製品の上市加速



医療(医薬・創薬支援・酵素)

- 医薬: 新規原薬の受注獲得
- 創薬支援: 国内-米国(XenoTech社)連携強化
- ・酵素: CDMO*事業の拡大

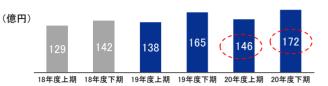
(億円)



*Contract Development and Manufacturing Organizationの頭文字。製剤開発から治験薬製造、商用生産まで、包括的にサービスを提供する事業形態のこと

検査海外

- ・欧米: 大手企業とのアライアンス拡大、POC*強化
- •中国:血液凝固拡大継続、蘇州新工場稼働
- •アジア: シンガポールVL社のASEAN拠点化推進



*POC: Point of Careの頭文字。現場(診療所等)での迅速な検査・診断のこと

開発重点施策

- グローバルパイプラインの拡充
- 新検査機器(高感度免疫、血液凝固) の開発推進
- 米国(SD社)にて遺伝子検査(MDx) 開発センター設立



SEKISUI

Copyright® SEKISUI CHEMICAL CO., LTD. All Rights Reserved.

50

Intentionally Blank

SEKISUI

スライドに記載されている見込、計画、見通しなど歴史的事実でないものは、 現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいて作成されております。 従って、実際の業績は、様々な重要な要素の変化により大きく異なる結果になりうる ことを、ご承知おきください。

* 本資料の億円表記の数値に関しては、億円未満を四捨五入で表示しています。

52

 $\label{local_constraints} \textbf{Copyright@ SEKISUI CHEMICAL CO., LTD. All Rights Reserved.}$

1.	住宅事業の主要データ						
			2019年度			2018年度	
		上期	下期	通期	上期	下期	通期
	売上高 (億円)	2,569	2,560	5,129	2,469	2,599	5,067
	住宅	1,747	1,769	3,516	1,686	1,786	3,472
\ -	リフォーム	494	456	950	467	483	950
連結	フロンティア国内	319	327	645	307	318	625
1.	不動産	268	277	545	260	267	527
	住生活サービス	50	50	100	47	51	98
	海外	10	9	19	8	11	20
	1.販売棟数 (棟)	5,425	5,485	10,910	5,380	5,560	10,940
	戸建て	5,120	5,080	10,200	5,030	5,170	10,200
	ハイム	4,050	3,980	8,030	4,080	4,200	8,280
	ツーユー	1,070	1,100	2,170	950	970	1,920
	アパート等	305	405	710	350	390	740
チ	2.主なデータ						
その他	単価<全国販社·戸建>(百万円)	31.4	31.5	31.5	30.9	31.5	31.2
他	坪単価<全国販社·戸建>(万円)	85.9	87.5	86.8	84.1	85.2	84.6
	床面積(㎡)	120.6	118.8	119.7	121.3	122.0	121.7
	展示場数(棟)	447	-	446	429	-	430
	営業人員数(人)	2,636	-	2,487	2,646	-	2,515
	建替え比率(%)*	24%	23%	23%	28%	28%	28%
	紹介契約比率(%)*	33%	34%	34%	33%	36%	34%

^{*}建替え比率と紹介契約比率は受注ベース

SEKISUI

Copyright© SEKISUI CHEMICAL CO., LTD. All Rights Reserved.

54

住宅カンパニー実績・計画について

2. 受注状況等	2020年度計画			2019年度			2018年度		
(百万円)	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
期初受注残	205,400	184,000	-	219,500	217,320	-	206,900	213,900	-
伸び率	▲ 6%	▲ 15%	-	+6%	+2%	-	±0%	+3%	-
新規受注	171,443	214,983	386,426	203,590	193,472	397,062	206,423	217,375	423,798
伸び率	▲ 16%	+11%	▲3%	▲1%	▲11%	▲ 6%	+2%	+5%	+3%
請負売上高	192,843	206,783	399,626	205,770	205,392	411,162	199,423	211,775	411,198
伸び率	▲ 6%	+1%	▲3%	+3%	▲3%	±0%	▲ 1%	+2%	+1%
期末受注残	184,000	192,200	-	217,320	205,400	-	213,900	219,500	-
伸び率	▲ 15%	▲ 6%	-	+2%	▲ 6%	-	+3%	+6%	-

3. 住宅着工戸数		2019年度			2018年度		2017年度
(戸)	上期	下期	通期	上期	下期	通期	通期
住宅着工戸数	466,692	413,308	880,000	491,418	461,518	952,936	946,396
上記での持ち家着工(=A)	152,973	125,527	278,500	146,498	141,212	287,710	282,111
当社戸建販売棟数(=B)	5,120	5,080	10,200	5,030	5,170	10,200	9,880
持ち家での当社シェア(=B/A)	3.3%	4.0%	3.7%	3.4%	3.7%	3.5%	3.5%

^{*2019}年度下期以降の"住宅着工戸数"と"上記での持ち家着工"は見通し

4. スマート系仕様装着比率		2019年度			2017年度		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	通期
太陽光発電搭載	77%	78%	77%	75%	73%	74%	74%
蓄電池搭載比率	52%	57%	55%	30%	40%	35%	21%
快適エアリー	78%	76%	77%	76%	79%	77%	76%